

作成日 2018/08/22

改訂日 2023/01/17

## 安全データシート

### 1. 製品及び会社情報

製品名 モノタロウ 壁ボード用接着剤 変成シリコーン系  
会社名 株式会社MonotaRO  
所在地 〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町2-183 リベル3階  
担当者名 商品お問合せ窓口  
電話番号 0120-443-509  
FAX番号 0120-289-888  
緊急連絡先 所在地と同じ  
整理番号 M230117

### 2. 危険有害性の要約 GHS分類

健康有害性 生殖毒性 区分2  
特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分2(全身毒性 中枢神経系)  
特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分2(血液系)  
上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

### GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語  
危険有害性情報

警告  
H361 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い  
H371 全身毒性、中枢神経系の障害のおそれ  
H373 長期にわたる、又は反復ばく露による血液系の障害のおそれ

注意書き  
安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。(P201)  
すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。(P202)  
取扱い後はよく手を洗うこと。(P264)  
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。(P270)  
保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。(P280)

応急措置

ばく露又はその懸念がある場合、医師の手当、診断を受けること。(P308+P313)  
気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。(P314)

保管  
廃棄

施錠して保管すること。(P405)  
内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
イソプロピルアルコール	0~3.0%	CH <sub>3</sub> CH(OH)CH <sub>3</sub>	(2)-207	既存	67-63-0
有機スズ化合物	1%未満	不明	不明	不明	不明
粘度調整剤	5~15%	不明	不明	不明	不明
トリブチルスズ化合物(不純物として)	1ppm未満	不明	不明	不明	不明

分類に寄与する不純物及び安定化添加物	情報なし
4. 応急措置	
吸入した場合	被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
皮膚に付着した場合	気分が悪いときは、医師の手当、診断を受けること。 汚染された衣類を脱ぐこと。 皮膚を速やかに多量の水と石鹼で洗うこと。 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。
眼に入った場合	水で数分間、注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。無理して吐かせないこと。 医師の診断、手当てを受けること。
5. 火災時の措置	
消火剤	散水、二酸化炭素消火剤、粉末消火剤、砂。
使ってはならない消火剤	情報なし。
特有の危険有害性	情報なし。
特有の消火方法	火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火すること。
消火を行う者の保護	消火作業は、可能な限り風上から行うこと。 消火作業の際は、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク)を着用すること。
6. 漏出時の措置	
人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	作業の際には、適切な保護具(手袋、眼鏡、防護マスク、エプロン、長靴)を着用すること。
環境に対する注意事項	密閉された場所に立入る前に換気すること。 河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意すること。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	環境中に放出してはならない。
二次災害の防止策	機材: ウェス等で拭き取り、密閉容器に回収すること。 すべての発火源を速やかに取除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)。 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐこと。
7. 取扱い及び保管上の注意	
取扱い	技術的対策 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置すること。 適切な装置を用いて局所排気を行ったり、窓を開けるなどして全体換気を行うこと。
保管	安全取扱注意事項 作業場の換気を十分行うこと。 周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する 保護眼鏡、保護手袋等適切な保護具を着用すること 取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする事。 安全な保管条件 直射日光を避け、屋内の冷暗所で保管すること。 保管時の温度は、40℃を超えないで、火気厳禁とすること。 安全な容器包装材料 皮張り防止のため、使用後は密封して保管すること。 気密性のある容器を使用すること。
8. ばく露防止及び保護措置	

	管理濃度	許容濃度(産衛学会)	許容濃度(ACGIH)
イソプロピルアルコール	200ppm	【最大許容濃度】 400ppm(980mg/m3)	TWA 200 ppm, STEL 400 ppm
有機スズ化合物	未設定	未設定	TWA 0.1 mg/m3, STEL 0.2

設備対策

火気厳禁の措置をとること。  
排気のための装置を設置すること。

保護具

呼吸器の保護具  
手の保護具  
眼の保護具

必要により有機ガス用防毒マスクを着用すること。  
必要により適切な保護手袋を着用すること。  
必要により適切な眼の保護具を着用すること。  
保護眼鏡(普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡、ゴーグル型)

皮膚及び身体の保護具  
必要により長袖を着用すること。

## 9. 物理的及び化学的性質

外観

物理的状態  
形状

固体  
ペースト

臭い

臭いのしきい(閾)値  
pH

色

白色系  
微かな臭気  
データなし  
データなし

融点・凝固点

沸点、初留点及び沸騰範

引火点

蒸発速度

燃焼性(固体、気体)

燃焼又は爆発範囲

下限  
上限

データなし  
データなし  
40°C以上  
データなし  
データなし  
データなし  
データなし

蒸気圧

蒸気密度

比重(密度)

データなし  
データなし  
1.58(23°C)

溶解度

n-オクタノール／水分配  
係数

自然発火温度

水に不溶。ベンゼン、トルエン、MEK等多くの有機溶剤に可溶。  
データなし  
データなし

分解温度

粘度(粘性率)

動粘性率

データなし  
28万mPa・s(23°C)  
データなし

## 10. 安定性及び反応性

反応性

化学的安定性

危険有害反応可能性

避けるべき条件

混触危険物質

危険有害な分解生成物

情報なし  
通常取り扱い条件においては安定。  
情報なし  
情報なし  
情報なし  
情報なし

## 11. 有害性情報

急性毒性

経口

急性毒性推定値が $4384\text{mg/kg}$ のため区分5に該当。  
JIS Z 7252に採用されていないため区分5から区分外に変更。

経皮

毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分外から分類できないに変更。  
急性毒性推定値が $5000\text{mg/kg}$ 超のため区分外に該

<p>吸入</p>	<p>毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分外から分類できないに変更。 (気体)</p>
	<p>GHS定義による気体ではない。 (蒸気) 急性毒性推定値が50000ppm超のため区分外に該毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分外から分類できないに変更。 (粉じん・ミスト)</p>
<p>皮膚腐食性及び皮膚刺激性</p>	<p>危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分外に該当。 毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分外から分類できないに変更。</p>
<p>眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性</p>	<p>危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分外に該当。</p>
<p>呼吸器感作性又は皮膚感作性</p>	<p>毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているた(呼吸器感作性)</p>
<p>生殖細胞変異原性 発がん性 生殖毒性</p>	<p>データ不足のため分類できない。 (皮膚感作性) データ不足のため分類できない。 データ不足のため分類できない。 データ不足のため分類できない。 (生殖毒性) 区分2の成分が3%のため、区分2に該当。 (生殖毒性・授乳影響)</p>
<p>特定標的臓器毒性(単回ばく露)</p>	<p>データ不足のため分類できない。 区分1(全身毒性)の成分が3%のため、区分2(全身毒性)に該当。 区分1(中枢神経系)の成分が3%のため、区分2(中枢神経系)に該当。</p>
<p>特定標的臓器毒性(反復ばく露)</p>	<p>区分1(血液系)の成分が3%のため、区分2(血液系)に該当。 ※区分2(肝臓)は3%含まれる。 ※区分2(呼吸器)は3%含まれる。 ※区分2(脾臓)は3%含まれる。</p>
<p>吸引性呼吸器有害性</p>	<p>動粘性率が不明のため、分類できないに該当。</p>
<p>12. 環境影響情報</p>	
<p>水生環境有害性(急性)</p>	<p>(毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3の成分合計が0%のため、区分外に該当。 毒性未知成分を含有しているため、区分外から分類できないに変更。</p>
<p>水生環境有害性(長期間)</p>	<p>(毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3の成分合計が0%のため、区分外に該当。</p>
<p>オゾン層への有害性</p>	<p>毒性未知成分を含有しているため、区分外から分類できないに変更。</p>
<p>13. 廃棄上の注意</p>	
<p>残余廃棄物</p>	<p>データ不足のため分類できない。</p>
<p>13. 廃棄上の注意 残余廃棄物</p>	<p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律の分類では、廃プラスチック類に該当する。乾燥硬化後、最大径15cm以下に粉碎、切断して埋立処分するか、都道府県条例等に基づく焼却処理か、許容を受けた廃棄物処理業者に委託する。</p>

汚染容器及び包装

内容物を完全に除いた後処分する。処理は法規に定めるところに従う。

14. 輸送上の注意

国際規制	海上規制情報	非該当
	Marine Pollutant	Not applicable
	Transport in bulk according to	Not applicable
	航空規制情報	非該当
国内規制	陸上規制	非該当
	海上規制情報	非該当
	海洋汚染物質	非該当
	MARPOL 73/78 附属書II 及びIBC コードによるばら積み輸送される液体物質	非該当
緊急時応急措置指針番号	航空規制情報	非該当
		なし

15. 適用法令

化審法	優先評価化学物質(法第2条第5項)
労働安全衛生法	作業環境評価基準(法第65条の2第1項) 名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9)
	危険物・引火性の物(施行令別表第1第4号) 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9)
消防法	プロピルアルコール(政令番号:494)(5%未満)
大気汚染防止法	すず及びその化合物(政令番号:322)(5%未満) 非危険物 指定可燃物 可燃性固体類 有害大気汚染物質に該当する可能性がある物質(中央環境審議会第9次答申)
	揮発性有機化合物(法第2条第4項)(環境省から都道府県への通達)
海洋汚染防止法	個品運送P(施行規則第30条の2の3、国土交通省告示) 有害液体物質(Z類物質)(施行令別表第1) 有害液体物質(Y類同等の物質)(環境省告示第148号第2号)
外国為替及び外国貿易法	輸入貿易管理令第4条第1項第2号輸入承認品目「2の2号承認」 輸出貿易管理令別表第1の16の項 輸出貿易管理令別表第2(輸出の承認)
特定有害廃棄物輸出入規制法(バーゼル法)	廃棄物の有害成分・法第2条第1項第1号イに規定するもの(平10三省告示1号)

16. その他の情報

参考文献	製造元メーカー提供資料 NITE GHS分類結果一覧 JIS Z 7252 GHSに基づく化学物質等の分類方法 JIS Z 7253 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS) 経済産業省 事業者向けGHS分類ガイダンス
------	---

日本ケミカルデータベース(株)SDS作成システム  
「ezSDS」により作成。

その他

危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、  
取扱いには十分注意して下さい。

「室内空気質汚染対策のための自主管理規定」(2003/2/21) 日本接着剤工業会制定  
「ノンホルムアルデヒド製品」として登録済  
JAIA-014118 F☆☆☆☆ (2022年4月1日登録)

※「ノンホルムアルデヒド製品」: ユリア/メラミン/フェノール/レゾルシノール樹脂、ホルムアルデヒド  
系防腐剤等のホルムアルデヒドを発生する原材料を使用していない製品のこと。  
「室内空気質汚染対策のためのVOC自主管理規定」(2008/1/30) 日本接着剤工業会制定  
「4VOC基準適合製品」として登録済  
JAIA-506901 4VOC基準適合 (2022年3月4日登録)